

～国内外の販売好調を受け、さらなる生産体制の強化へ～
「iMUSE（イミューズ）ヘルスサイエンスファクトリー」の製造設備増設で
「プラズマ乳酸菌」菌体の生産能力を倍増へ
 ～2023年の年間製造能力は約28トンに～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典、以下キリン）は、キリンの独自素材「*Lactococcus lactis* strain Plasma（以下、「プラズマ乳酸菌）」の需要増加に対応するために、乳酸菌原料を製造する拠点「iMUSE（イミューズ）ヘルスサイエンスファクトリー」（埼玉県狭山市）の製造設備を増設します。増設設備の稼働は2023年を予定しており、2023年の「プラズマ乳酸菌」菌体の年間生産能力は、現行の約2倍となる約28トンへと拡大する予定です。

「プラズマ乳酸菌」は、健康な人の免疫機能の維持をサポートする乳酸菌です。免疫細胞「プラズマサイトイド樹状細胞（pDC）」にちなんで名付けられ、キリン、小岩井乳業株式会社、協和発酵バイオ株式会社および国内外の大学・研究機関と共同でこれまで多くの論文・学会発表を行っています。



このたび、キリングループでの「プラズマ乳酸菌」事業の好調な推移に加え、今後の海外での展開加速や外部導出商品の拡大などを見越して、菌体製造設備の増強を決定しました。「プラズマ乳酸菌」を通じて、お客様が抱えるさまざまな健康への不安と向き合い、世界中の人々の健やかで幸せな生活に貢献します。

■設備投資の概要

- | | |
|--------------|--------------------------------------|
| 1. 稼働開始時期 | 2023年春頃（予定） |
| 2. 導入工場 | iMUSE ヘルスサイエンスファクトリー |
| 3. 所在地 | 埼玉県狭山市大字上広瀬 1254
（小岩井乳業株式会社東京工場内） |
| 4. 敷地面積 | 895㎡ |
| 5. 製造対象商品 | プラズマ乳酸菌、KW 乳酸菌 |
| 6. 増強後の製造能力 | 28トン／年 |
| 7. 投資額（増設設備） | 約9億円 |



iMUSE ヘルスサイエンスファクトリー外観

■今回の設備投資の背景

1. 「プラズマ乳酸菌」事業の好調

「プラズマ乳酸菌」入り商品の2021年1月～8月累計販売金額は前年比約6割増となるなど、好調に推移しており、今後もお客様の「免疫ケア」に対する興味関心の高まりや、需要拡大が続くと予想しています。

2. 国内での外部導出商品の拡大

2021年9月から「免疫ケア」に賛同いただける複数企業とタッグを組み、キリングループだけでは届けきれないお客様へ「プラズマ乳酸菌」入り商品を展開することで、「プラズマ乳酸菌」市場のさらなる拡大が見込まれます。

3. 海外での展開を加速

現在もベトナムで「iMUSE」ブランド商品を販売し、米国と欧州のBtoBチャネルで「プラズマ乳酸菌」の菌体を販売するなど海外での販路を拡大していますが、こうした展開をさらに加速していきます。

キリングループは、長期経営構想「キリングループ・ビジョン2027」を策定し、「食から医にわたる領域で価値を創造し、世界のCSV[※]先進企業となる」ことを目指しています。その実現に向けて、人々の健康に貢献していく「ヘルスサイエンス事業」の育成を進めています。その一つとして、キリングループの35年の研究から生まれた「プラズマ乳酸菌」を使用した商品をグループ横断で展開し、「免疫ケア」をしながら生活する一人ひとりの健康を支援し、明るく健康で生き生きと過ごせるような社会の実現を目指します。

※ Creating Shared Value の略。お客様や社会と共有できる価値の創造

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 お客様相談室（フリーダイヤル）0120-770-502

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>